

桐生市工場アパートの増設並びに 企業用共同倉庫の新設について（改訂継続）

桐生市工場アパートは、自己資金で新工場を建設するまでの間、工場の提供を行うことにより、中小企業の作業環境の改善や経営基盤の強化といった企業育成のための支援を目的に、平成11年に建設された賃貸型の工業用施設であります。

30坪から60坪までの広さが用意された工場アパートは、非常に作業効率がよく、また、月額使用料も最高で16万円弱と大変リーズナブルな価格となっておりますが、現在の棟数は12棟と必ずしも必要数を満たしているとは言えません。

つきましては、産業集積の維持・発展に繋がる創業者支援、そして桐生機械工業連合会がBCP協定を締結し連携・交流連携を強めている、(一社)大田工業連合会の会員事業所の受入体制の整備にもつながることから、桐生市工場アパートの増設について強く要望いたします。

また、市内製造業者の工場内設備は非常に手狭となっていることから、材料や納品前の製品の格納庫としての共同倉庫の新設も併せて要望いたします。

桐生市からの回答

桐生市工場アパートについては、中小企業の育成と地域経済の発展を目的に設置され、自社では新工場等設備投資に余裕のない小規模企業者や個人に対し、比較的安価な賃料で提供し、入居企業の事業拡大を支援しております。

これまで、市内事業者であることを入居要件として設定しておりましたが、市外からの優良企業についても入居を可とするよう要件を緩和したところ、市外事業者より入居相談も寄せられております。

工場アパート運営につきましては、入居企業が安心して事業を継続できるよう、適切に対応してまいりたいと考えております。

工場アパートの増設と企業用共同倉庫の新設につきましては、多額な建設費を要することや、共同倉庫の管理方法の問題などを踏まえ、企業ニーズや桐生市公共施設等総合管理計画などと照らし合わせながら、十分検討する必要があるものと考えております。

[回答担当] 産業経済部商工振興課工業労政担当